

岐阜県立斐太高等学校

学 校 長 堀川 厚則

学校住所 高山市三福寺町 736 番地 電話 0577-32-0075

- 1 会議の名称 岐阜県立斐太高等学校 学校評議員会（第2回）
- | | | |
|-----|-------|------------------------|
| 委 員 | 伊藤 松寿 | 有斐会会長 |
| | 金子 俊平 | 公益社団法人 高山青年会議所(理事長) |
| | 洲岬 梨恵 | 料亭洲さき 女将 |
| | 二村 陽子 | (株)飛騨高山テレ・エフエム(ナビゲーター) |
| | 野戸 修 | 育友会（会長） |

(委員名は五十音順)

学 校 側	堀川 厚則	校長
	荒井 朝子	事務部長
	奥村 哲也	教頭
	竹本 哲行	教務主任
	山本 直樹	進路指導主事
	奥田 寛	生徒指導主事
	楨本 寛	特別活動部長

- 3 会議の目的 学校運営について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。そのため岐阜県立斐太高等学校に学校評議員会を置く。
- 4 会議の開催 平成 28 年 2 月 10 日(水) 13:30～15:30 斐太高等学校(校長室)
委員 4 人と学校側 7 人が出席
- 5 会議の概要
- (1) 開式 (13:30～13:40)
 - ・ 学校長挨拶
 - (2) 授業参観 (13:40～14:15)
 - (3) 協議 (14:20～15:30)
 - ・ 授業参観に関する感想・意見
 - ・ 平成 27 年度本校の近況と課題について
 - ① 『生徒及び保護者等を対象とするアンケート』結果について
 - ② 自己評価各分掌より
 - ・ 意見交換「本校教育に対する提言」

(1) 授業参観に関する感想・意見

- 意見 1 日本史の副教材、化学の実験の模式図など高度な内容を教師が適切に提示し、生徒はノートを熱心にとっていてよかった。英語の授業も積極的な態度でよかった。
- 意見 2 特に英語の授業が印象に残った。自分の高校時代と比べて本格的で、教師が英語で指示し、説明して授業が展開されていた。ペアワークも効果的だと感じた。
- 意見 3 多くの授業において、多彩で、工夫されたプリントを教師が準備していたのがよい。
- 意見 4 授業の中でじゃんけんを活動に取り入れていたのは効果的だ。コミュニケーション能力を高め、授業の雰囲気づくりもできる。高いレベルの内容を扱っているが、日本史と世界史の関連など教科間の関連などに触れた指導があった。

(2) 平成27年度本校の近況と課題についての説明とそれに対する質問

説明事項 ①『生徒及び保護者等を対象とするアンケート』結果について、斐太高校関係新聞記事
②教務部 ②進路指導部 ③生徒指導部 ④特別活動部

- 意見 1 アンケート結果は、どの項目も良好で、先生方の努力が表れている。野球部の歴史的な活躍と、それに対する地域の熱狂ぶりは、今でも印象に残っている。高山地区を代表する学校として今後もあり続けてほしい。

学校側 在校生への指導は今後も継続的に努力するのはもちろんだが、少子化や飛騨地区からの他地区への受検生の流出という現状がある。長期的な視点から、飛騨地区で活躍できる人材を育成していきたい。

- 意見 2 大学の進学率は地域から注目されるので、大学に関する情報を多面的に保護者や地域に伝えてほしい。

学校側 進学指導は充実させているが、それを地域に発信する側面はさらに充実していく必要がある。また、進路情報に限らず、学校行事などの生徒の姿を効果的にPRしていきたい。

- 意見 3 学校裏サイトなどへの対応は十分か？

学校側 県単位で学校裏サイトや問題行動につながる情報などを監視し、問題があれば生徒指導主事に連絡が入り、迅速に対応できるようになっている。

意見 4 下宿生は何人くらいで、下宿生への指導は十分か？

学校側 30名程度であるが、年2回の指導はもちろん、長年生徒を受け入れている下宿先は食事もよく、きめ細かな対応をしてもらっている。下宿先の方には、地域の伝統校の生徒を預かっているという意識がある。地域の方のご協力をいただけてありがたい。

意見 5 少子化を考えると現在の定員を確保していくのは難しい。学校の特色をより鮮明に打ち出していく必要がある。

学校側 高校入学以前から学習習慣をつけられるよう、本校を中心に高校生が出身中学生を教えるというスタディーサポーターなどを充実させ、本校が地域教育の核となれるよう指導していきたい。

(2) 本校教育に対する提言

意見 1 長期休業中に家で時間を持て余している生徒もいるので、生徒たちが学校に来て一緒にまとまって学習できるように工夫をするとよいと思う。

意見 2 飛騨地区の受検生の流出を食い止めるのはもちろんだが、発想を転換して、求める生徒像を明確にして、他地区から受検生が流入してくるような企画を出すことが大切である。

6 会議のまとめ

第2回の学校評議員会では、始めに1、2年生の授業を見ていただき、その後、本校の教育活動の概要本校の近況と課題について説明し、感想および提言をいただいた。

生徒の学習に取り組む姿勢は、高い評価をいただいた。各委員からは、将来に向けて斐太高校をよくしていくための意見、提言がなされた。